

The background of the slide is a photograph of terraced rice fields in Nagasaki Prefecture. The terraces are built on a hillside, with stone walls separating the different levels. Some fields are filled with green rice seedlings, while others are covered with dark mulch or are bare. A small white truck is visible on a road that runs through the middle of the terraces. The sky is clear and blue.

就農希望者のための

—受入団体等登録制度について—

平成28年4月
長崎県農林部

長崎県はこんなところです！

- 九州の西北部に位置する長崎県は、多くの半島・離島で構成されており、県土の45%が「しま」。海岸線の長さは全国第2位で、「まち」のどこからでもすぐに海へたどり着きます。
- 古くから大陸などとの交流が盛んで、出島は江戸時代に西洋へ開かれた唯一の窓。この歴史を背景に、2つの世界遺産(候補)が誕生しました。
- 日本近代化の先駆けであり、「祈りのまち」・「ひかりのまち」。海の恵み・山の恵みが豊かで美味しいところ。それが長崎県です。

長崎は、

きれい！

西海の夕日



五島の海



長崎の夜景



うまい！

長崎ちゃんぽん



長崎ブランド魚
「ごんあじ」



伝統の卓袱
料理



WTO認定世界ブランド「舌岐焼酎」

すごい！

- ・面積 4,106 km²
- ・人口 1,387,963 人
- ・世帯数 567,770 世帯



明治日本の産業革命遺産
(軍艦島)



長崎の教会群とキリスト教関連遺産



波佐見焼(コンプラ瓶)



天然記念物
ツシマヤマネコ

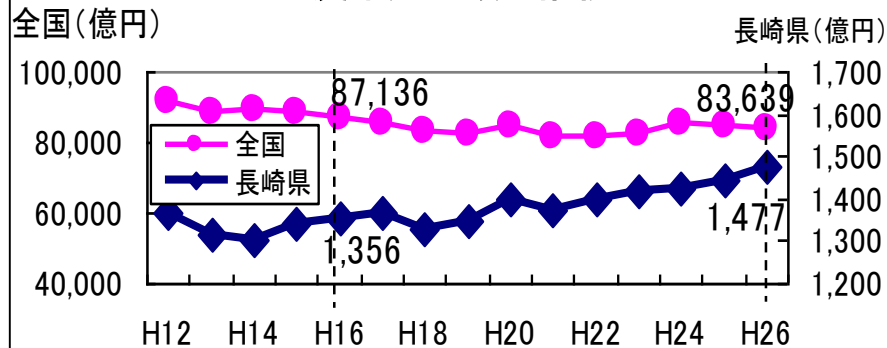


三菱重工長崎造船所

長崎県の農業・農村の特徴

- 長崎県は急傾斜地が多く、耕地条件には必ずしも恵まれていませんが、複雑な地形や天候等の地域の特徴を活かした多様な農業が展開されています。
- 産地では、品目毎に組織された生産部会が「技」を磨きあい、増収・品質向上に取り組んでいます。
- また、加工品の販売や体験学習などに取り組むことで県外でも人気となるなど、元気な農業法人もたくさんあります。
- この結果、ここ10年で我が国全体の農業産出額が4%減少する中、本県は9%も増加しています。

農業産出額の推移



高糖度みかん
「させぼ温州」
販売単価は日本一



長崎の主力:いちご「ゆめのか」



甘みが自慢の長崎アスパラ



全共日本一の長崎和牛



北海道に次ぐばれいしょ産地

<生産部会>

- ・ 本県の農業者の多くは、JA等の生産部会に属しており、共通の生産技術や出荷方法を取り決め、農産物の生産・出荷を行うことで産地を形成しています。
- ・ 産地では作物の管理方法を統一するため、現地での検討会などを通じて栽培技術の向上に取り組んでいます。
- ・ 高い技術と品質管理により生産された本県の多くの農産物は、全国の市場で高い評価を得ています。



<農業法人・6次産業化>



諫早湾干拓地では、数多くの農業法人が環境保全型農業に取り組んでいます。
無人トラクターの実証研究も始まりました。

長崎県認証ブランド農産加工品「長崎四季畑」。県産材を使い、厳しい審査をクリアした自慢の商品です。

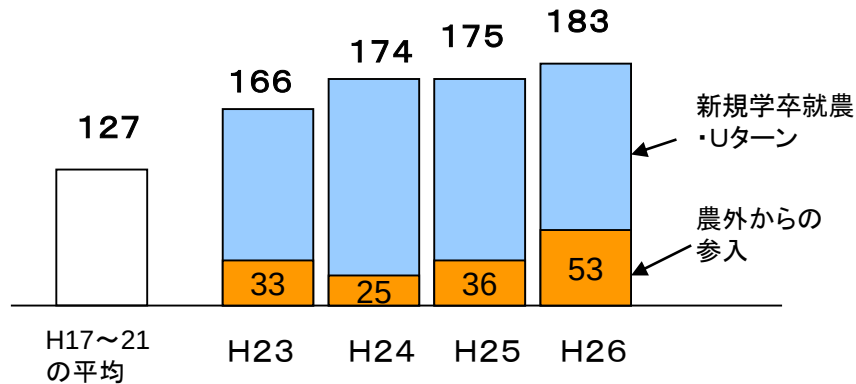


農業法人:おおむら夢ファーム
シュシュの施設。レストラン・お菓子工房などがあり、1日数百人が訪れます。さらに直売所
甲子園2015で優勝の栄誉!

長崎県における新規就農者の参入状況

- 近年、長崎県で農業を始める人が増えています。26年度は183人の方が新たに就農しましたが、このうち、53人は農業経験がなかった方です。
- また、本県での就農をめざし、毎年、約40人が技術習得のための研修を受講しています。
- 県外在住の皆様には、本県のインターンシップ事業により、県内屈指の優れた農家に泊り込み、就農体験を行っていただくことも可能です。

○ 長崎県における新規就農者数の推移(単位:人)



清水 良太(しみず りょうた)さん
38歳、東京都出身

農業を目指したきっかけは、普段食べる食物の中で特に野菜がどのように栽培されているか知りたかったからです。

今後は、中古で手に入れた18aのハウスにおいて生産確立と経営を安定させたい。きゅうり栽培を通じて、消費者との交流を行い農業に関心を持ってもらえるように努力したい。

○ 就農希望者の技術習得研修(技術習得支援研修事業)



- ・ 県立農大等での2ヶ月間の基礎技術研修と優良農家等の元でのマンツーマンによる10ヶ月間の受入農家派遣研修。
- ・ 定員20名×年3回募集。受講料は無料(県が負担)。※テキスト代等実費負担。

○ インターンシップへの支援(農業就業体験事業)



- ・ 農業に関心がある大学生等が3泊4日で先導的農家等に泊り込み、農作業や農家の生活を体験(大学のインターンシップ単位取得の場合は4泊5日)
- ・ 定員30名。参加費、宿泊費、食費は無料(県が負担)。



岡田 正則(おかだまさのり)さん
47歳 大阪府出身

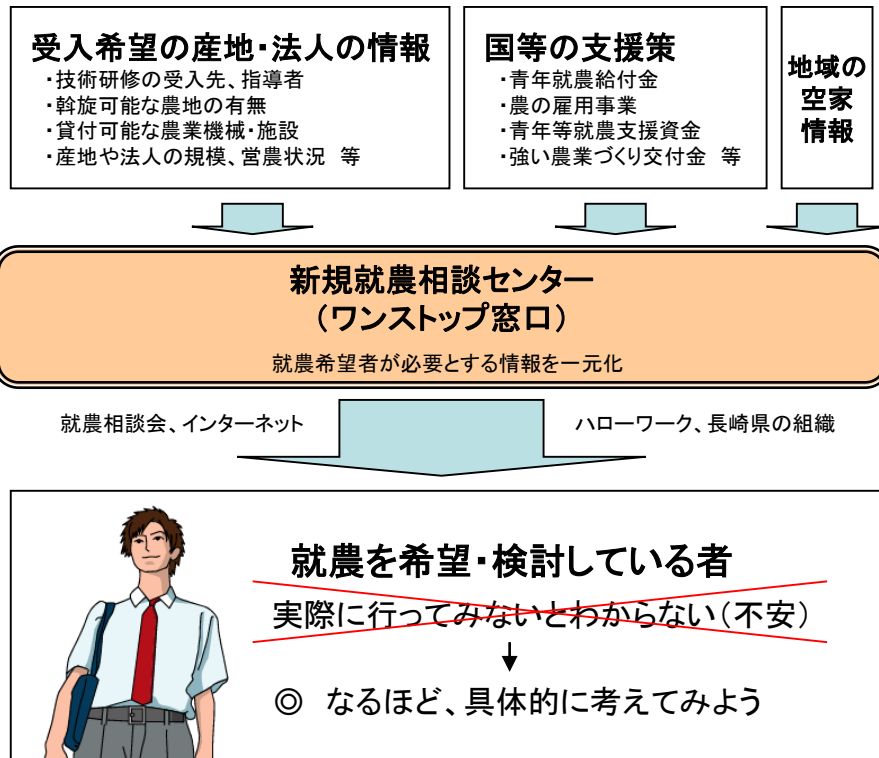
農業を志したのは、飲食店勤務の経験から安心・安全な食料生産を自らの手で行いたいと考え始めたためです。

夫婦揃って働ける環境は楽しいです。
規模拡大を行い所得確保を進めていきたいと思っています。

受入団体等登録制度の創設

- 就農は、人生における大きなチャレンジです。就農希望者に対しては、国の給付金等による生活支援はありますが、技術を習得するための研修先や、営農開始時に必要となる農地・施設・機械などの経営資源、住居などは自分で探す必要があります。
- 長崎県では、就農を考えている全国の方々に安心して本県を就農先に選択して頂けるよう、本年度から、これらの受入態勢を整えた産地や農業法人などを登録し、全国へ情報発信しています。

＜受入団体等登録制度の仕組み＞



＜就農までの流れ(イメージ)＞



受入団体のご紹介

- 平成27年度から取り組み始めた受入団体等登録制度では、平成28年3月31日現在、151の産地や農業法人等が登録されており、これからも続々と増えていきます。
- 長崎県では多くの産地や法人等が、全国トップブランドを目指し、共に働く「なかま」を求めており、今後、登録された受入団体等と就農希望者とのマッチングが活発に実施される予定です。
- ここでは、現在の登録状況をご紹介します。

○受入団体等登録制度 登録データ事例

担い手等受入産地登録データ(平成27年)

項 目		概要及び特記事項 ※産地で記入ください。
産地名 ◇		JA〇〇 アスパラガス部会
品目 ◇		アスパラガス
場所 ◇		〇〇市
栽培面積 ◇		産地全体:4.3ha *すべて施設栽培
部会員数 ◇		28名
販売額 ◇		産地全体:34,665千円 一戸当たり:1,238千円
部役員 ◇		部会長:〇〇〇〇、副部会長:□□□□、△△△△
産地の特徴 ◇		・平成18年にJA野菜部会からアスパラガス部会として設立し、9年目に至る。 ・アスパラガス専業のほか、水稲、施設ミニトマト、畜産などの複合経営をおこなっている。 ・〇〇市〇町にアスパラガス共同選果場があり、JAでの共選・共販体制が整っている。 ・主な出荷先は福岡市場。
新たな担い手の受入に対する考え方	新規参入者 ★	○ 受入可能(年間1名程度)
	雇用就農 ★	× 当地区でのアスパラガス栽培は家族経営が主で、雇用体系が整っていない。
新たな担い手への支援項目	受入条件 ▼	× 特になし
	研修の受入 ▼	○ 研修期間は1年間 通いで研修を実施。(住み込みは不可) 研修費は無料
	転換可能な農地 ▼	○ 部会員の遊休化した農地を利用可能。利用料金は土地所有部会員と相談。 または、農地中間管理機構を通じた農地の利用可能。
	転換可能な施設 ▼	× 元部会員の遊休化した施設を利用可能ではあるが、築年数経過し長期利用は困難
	転換可能な機械 ▼	○ 部会員のトラクター、耕運機、防除機など、初期の作付準備にかかる機械等を借りることは可能。
	技術支援 ▼	○ 部会役員、〇〇農業協同組合、〇〇振興局が生産技術を支援
	販売支援 ▼	○ 〇〇農業協同組合で委託販売を行う。
	転換可能な住居 ▼	○ 〇〇市 Uターン者対象空き家情報あり
	その他 ▼ (畜産、生活環境、受入実績など)	
産地の風景(写真) ▼		 

○受入団体等登録制度 登録状況(平成28年3月31日現在)

	登録数	団体等区分	計	主な部門							
				露地野菜	施設野菜	果樹類	花卉・花木	酪農	肉用牛	養豚	その他
県全体	151	産地	84	9	40	17	17				1
		法人	29	17	5	2	1	1		2	1
		公社	4	2	1				1		
		農業士	22	2	10	3	6				1
		認農者等	12	5	4	2	1				
		計	151	35	60	24	25	1	1	2	3

登録情報へのアクセス

- 受入団体等登録制度に登録された産地や法人等の情報は、長崎県新規就農相談センターのHPや「新・農業人フェア」などの就農相談会を通じ、随時、最新情報をお伝えします。
- このほか、ながさき移住サポートセンター（長崎本部・東京窓口）や東京事務所・大阪事務所、全国17ヶ所のハローワーク窓口でもご覧いただくことができます。
- 今後はさらに情報発信チャンネルを増やし、広く全国の就農希望者に向けて長崎県の就農支援情報を提供していきます。

◎ 長崎県新規就農相談センター

<http://www.pref.nagasaki.jp/e-nourin/nagasaki-syunou/nagasaki-syunou.html>

〒854-0062 長崎県諫早市小船越町3171

電話:0957-25-0031 FAX:0957-25-7716

E-Mail: s070301@pref.nagasaki.lg.jp

◎ ながさき移住サポートセンター（長崎本部）

〒850-8570 長崎市江戸町2番13号 県庁本館1階

TEL:095-894-3581 FAX:095-894-3586

E-mail: iju@pref.nagasaki.lg.jp

長崎県移住支援公式HP ながさき移住ナビ

URL: <http://nagasaki-iju.jp/>



久永 倫世
移住相談員

ながさき移住サポートセンター（東京窓口）

〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-10-1

東京交通会館6階

（ふるさと回帰支援センター内）

電話:080-7735-3852

E-Mail: nagasaki@furusatokaiki.net

長崎県東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3

都道府県会館14階

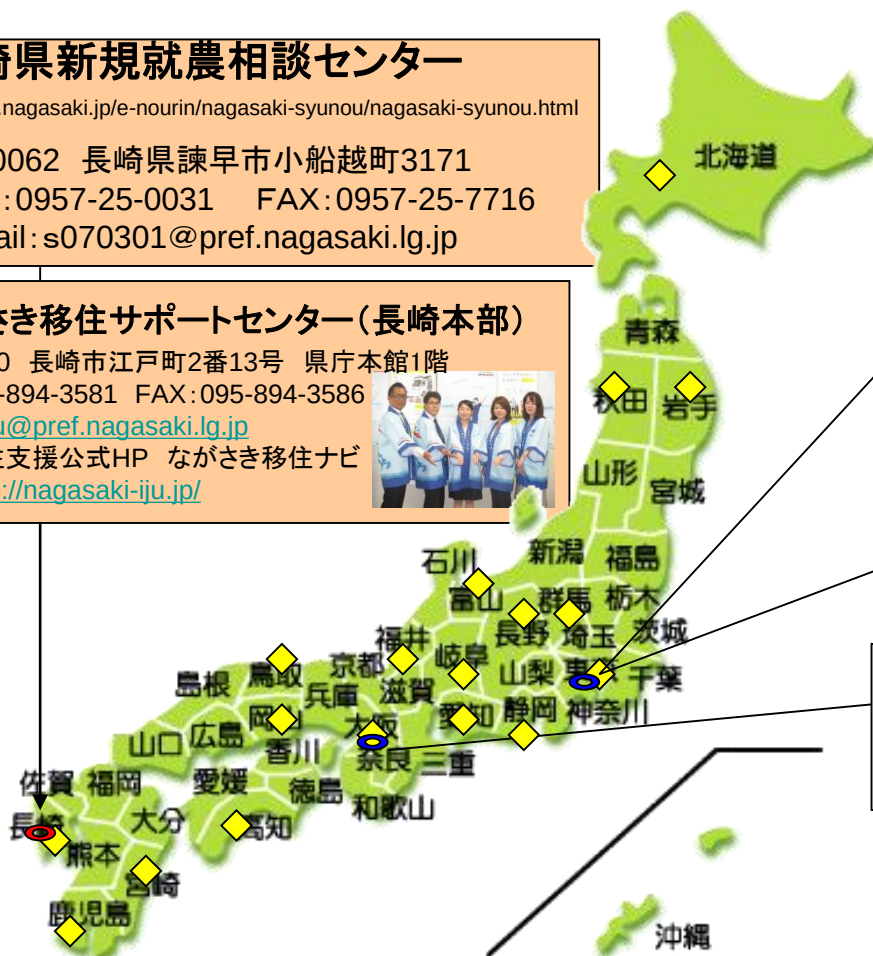
電話:0957-25-0031 FAX:03-5215-5131

長崎県大阪事務所

〒530-0001 大阪市北区梅田1-3-1-800

大阪駅前第1ビル8階3号

電話:06-6341-0012 FAX:06-6341-0312



◆ = 登録情報が閲覧可能なハローワーク